
ENUM トライアルジャパン (ETJP) 設立趣意書

2003 年 9 月 10 日

ENUM トライアルジャパン 発起人代表 後藤滋樹

名称

本会は正式名称を「ENUM トライアルジャパン」とし、略称を「ETJP」とする。

設立趣意

電話番号を用いてインターネット上の様々な通信サービスへの統一的なアクセスを可能とする ENUM について、DNS による基盤サービスから通信アプリケーション、通信サービスまでを含めた、基本機能の技術的検証、実用性の技術的検証、サービス化に向けた技術的課題の整理と検討を行うために「ENUM トライアルジャパン (ETJP)」を設立する。ETJP は、ENUM 関連技術を持つ企業、団体、個人が集まり、多種多様な技術確認を行うことを活動の中心におき、そのまま商用化することは前提としない。

(設立背景)

インターネット上の通信形態はますます多様化しており、電子メール、Web のみでなく、Fax や電話もインターネット上で利用されるようになってきている。

このような様々な通信サービスに対して、電話番号という統一的な識別子で通信相手を指定する技術が ENUM である。現在、IETF および ITU-T にて、ENUM の技術標準、管理運用手順が提案されている。わが国においては、総務省の「平成 14 年度電気通信番号に関する研究会」において ENUM の検討の必要性が議論されている。また、企業や業界団体を中心とした「ENUM 研究グループ」の成果が今年の 5 月に報告書として公開されている。

諸外国においては、すでに ENUM のトライアル運用が始まっており、そこでの通信アプリケーション、通信サービスの実験を通じた技術的検証や諸問題の解決に向けた動きが加速している。わが国においても、実際に ENUM をトライアル運用することにより ENUM を用いた通信アプリケーション、通信サービスを実験する環境を構築し、技術的検証、課題整理等を進めていく必要がある。

ETJP の目的と進め方

1) 目的

ENUM の基盤サービス、その上の通信アプリケーション、通信サービスまでを含めた、基本機能の技術的検証、実用性の技術的検証、サービス化に向けた技術的課題の整理と検討を行う場を提供する。また、諸外国の ENUM トライアルと連携し、国際レベルの技術的検証を行う場も提供

する。この場を用い、各会員が ENUM をベースとする通信アプリケーション、通信サービスの技術ノウハウを蓄積する。

2) 活動内容


ETJP 全体として一つの成果を求めるのではなく、個々の会員が自由に技術実験を行う。すなわち、各会員もしくは複数会員からなるグループが、各自の技術を持ち寄り、実験を独自に企画し、実行する。その経緯および結果を事務局宛に報告する。主な活動項目は次のものである。

- ・ENUM トライアル用 DNS の運用
- ・ENUM を用いる通信機器、ソフトウェアの技術的検証
- ・ENUM を用いる通信サービスの技術的検証
- ・ENUM に関する情報の集積

3) 成果

- ・各会員の通信機器やソフトウェアの技術的検証結果
- ・ENUM を用いる通信サービスの技術的検証結果
- ・ENUM を用いた通信サービス実現のための技術課題明確化

4) 成果の扱いについて

トライアルの結果は、次のような方法により原則として公開する。 

- ・Web サイト掲出
- ・ENUM 実験報告会

5) 活動のロードマップ

- 2003 年 9 月 発足
- 2003 年 9 月～ フェーズ 1 (ENUM を用いた通信機器、ソフトウェアの動作検証)
- 2003 年 12 月～ フェーズ 2 (ENUM を用いた通信サービスの動作検証)
- 2004 年 4 月～ フェーズ 3 (利用者による ENUM 操作まで含めた通信サービス全体の動作検証、他国の ENUM トライアルとの連携)

6) 知的財産の扱い

ETJP は知的財産を含む財産を持たない。必要に応じ実験に参画するもの同士で相談する。

ETJP への参加

ETJP の趣意に賛同し、自らの技術を持ち込み動作検証に参加するなど、ETJP の活動に貢献することを希望する企業、団体、個人は、活動への貢献内容の宣言を記して所定の入会申し込み手続きを行うことにより、ETJP の会員となることができる。

会費・運営費用負担

ETJP は独自の会計・口座・資産等を持たない。会員には会費の納入義務はない。ETJP の活動にかかわる会議の運営費用、通信費用、書類作成費用、その他人件費等は、それに取り組む会員がそれぞれで負担するものとする。

組織

1) 会長・副会長

ETJP 活動の代表まとめ役として、会長、必要に応じ副会長を置く。
会長、副会長は会員からの推薦により決める。

2) 全体会議と分科会

ETJP の最高決定機関である全体会議を定例で開催し、その中では全体の進め方、活動報告、分科会の設置・改廃等についての議論を行う。

3) 事務局

JPNIC と JPRS が担当
連絡先は、sec@etjp.jp

発起人

後藤滋樹	社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC)
堀田博文	株式会社日本レジストリサービス (JPRS)
石田慶樹	WIDE Project